

# 飯舘村の里山再生に取り組む

## 私たちの里山再生活動が目指すこと

ふくしま再生の会は、人々が里山林との関わり合いを再開し、里山林の新陳代謝を促進し、地産木材の利用を促進し、里山林の自然環境を取り戻すことを目指して、2021年4月から里山再生の活動に取り組んでいます。具体的には宿泊施設「風と土の家」の南に広がる地域をモデル里山林として、2021年5～6月に放射能・放射線の測定と樹木構成の調査を行い、その結果をもとに再生計画を立てました。

## 再生計画で描く未来の姿

- 皆伐・間伐と下草刈りにより光を取り戻した里山林で、スズランの花も咲き、春には植樹したヤマツツジの花、秋には紅葉など、飯舘村の住民と訪れる人々が取り戻した景観を楽しむ。
- 伐採された樹木が、木材として建築・構築物・木工物に使われて、地産木材の利用が再開される。
- 数年後には植樹したクリが、里山林の恵として他の山菜とともに食される。
- クヌギやコナラを植樹や萌芽で育て、土から樹木への放射能移行の違いや、汚染の少ない樹木が育つ場所を調査し、その結果から里山の樹木が炭や薪、楯木としての利用が再開される。
- 里山林の一角を占める山地牧場には、牛や羊がのどかに草を食べ、ミルクやチーズ作りが行われ、排泄物と稲藁や落ち葉を利用した堆肥作りで、循環型農林畜産業が再開されている。
- 里山林の再生活動を体験し、里山林の価値を理解する人が増え、その人々の間に交流が生まれる。

## 課題と村民・学生との協働

活動の成果が目に見えて人々に実感されるには、少なくとも5～10年に渡る長期間の活動が必要であり、また阿武隈山系を俯瞰する活動の広がりも必要です。そのため復興農林畜産業に関心のある福島大学農林サークルと東京大学むら塾の学生との協働を進める予定です。また里山の生活の知識と経験のある村民との協働も欠かせません。

自然との対話、人と人との協力を大切にしつつ、日進月歩で進めていきたいと考えています。

佐須モデル里山林の再生計画

